

# 古今東西 くんくん 行きます!

郡市長がさまざまな現場を訪問し  
市民の皆さまの活動の様子な  
どをお伝えします



▲チェックリストで集積所のごみの分別状況を確認する子どもたち

私は参加した1月上旬のまだ寒い日も、朝早くから19人の子どもたちが3つのグループに分かれ、7カ所

宮城野区清水沼地域で環境美化に取り組み「ジュニアクリーンメイト」の活動に参加し、お話を伺いました。

## チームワークでの活動

市では、ごみの分別や減量・リサイクル推進など地域の環境美化活動の旗振り役として「クリーン仙台推進員」を委嘱しています。清水沼町内会では、地域の子どもたちが「ジュニアクリーンメイト」として、平成29年から推進員と一緒に活動。これは清水沼独自の取り組みだそうで、主に学校の長期休みに集積所を回りごみの分別状況を調査するほか、啓発ポスターの作成や公園のごみ拾いを行うなど、まちを住みよくする活動を続けています。

のごみ集積所を回っていました。トンネルで周辺のごみを拾う子、家庭ごみ袋に紙類など資源になるものが入っていないかなどの分別状況をチェックリストに書き込む子、後輩たちにチェックポイントを教える子など、それぞれが自分の役割を果たし、チームワークを発揮しながら取り組む姿を、とても頼もしく感じました。

## 美化活動が地域を明るく

ジュニアクリーンメイトの皆さんは、ごみ焼却場の見学会や環境事業所の勉強会にも参加しているそう。原町小学校4年生の加藤仁菜さんは「ごみの分別方法など、今まで知らなかったことを教えてもらいました。これからも勉強を続けていきたい」。また、小学5年生の滝田みそさんは「朝学校に行くとき、集積所を見るようになりまして。カラスに荒らされていたら近くに集積所のちり取りを使って片付けたりしています」。小学6年生の山口一樹さんは「勉強するときに裏紙を再利用するなど、ごみをなるべく出さないよう、気を付けるようになりました」と話してくれました。普段の生活からごみ減量やまちの美化につながる行動を心掛けていくのですね。

仙台青陵中等教育学校1年生の佐藤匠真さんは「活動中に通りかかった地域の方が笑顔であいさつをしてくるなど、まちがきれいになるだけではない

く、雰囲気も明るくなっていると感じます。活動を通じて地域に貢献できているという達成感があります」。皆さんの地域への思いが、心通う関係づくりにもつながっていることをうれしく思います。この3月で活動を終える宮城野中学校3年生の佐瀬颯良さんは「自分たちの手で自分たちの住むまちがきれいになるのが、気持ちよかったです。これからも地域の方々と協力して活動に励んでください」と、後輩たちにエールを送りました。

## 一人一人がまちの主角

ごみの散乱のない快適なまちづくりには、各家庭や地域での取り組みが不可欠です。ジュニアクリーンメイトの皆さん一人一人が、このまちの構成員であり主役なんだという気持ちで取り組んでいることを、心強く感じます。次代を担う子どもたちが住みよいまちを目指し、自分にできることを考え行動することは、地域への愛着を育み、環境への意識を高めていくことにつながると 생각합니다。

これからも地域の皆さんと手を携え、環境美化に取り組むまちづくりを進めていきます!



※撮影のため、マスクを外しています(学年は当時)

